

としょしつボランティアは 10 人になりました

「からだのとしょしつ」で活動中のボランティアは 10 人になりました。ひとコマの活動時間は 3 時間です。月曜から金曜まで、一日 3 時間ずつ 2 人のボランティアが活動しています。おもな活動を紹介します。

- 患者さんやご家族が、本を選ぶお手伝いをします。
- 書架の整理整頓をします。本を分類順に並べます。
- お持ち帰り用パンフのレイアウトや補充をします。
- 新しく買った本の表紙にビニールシートでカバーをします。これは本を清潔に保つため、また汚れを取りやすくするためです。
- 本の目次や索引を使いやすくするために、そのページにインデックスのシールを貼ります。
- 癒しの空間を維持するために室内の清掃をします。
- ひな祭り、七夕など季節の飾り物をします。

ほかにも皆様に喜んでいただけるように様々な活動を行います。

発行：からだのとしょしつ ボランティアグループ
からだのとしょしつ（東邦大学医療センター大森病院 2 号館 3 階）
開室日時：9:30~16:30 土・日・祭日はお休みです。
WEB 版「からだのとしょしつ」でも資料と探し方のご案内をしています。
<http://www.mnc.toho-u.ac.jp/mmc/karada/>

東邦大学医療センター大森病院

からだのとしょしつ

だより

(9号 2010/4/26)



【資料の紹介】 おすすめの一冊

『手術日までに患者が知りたい胆石症：ナース・ポリクリ学生・
研修医にも知っていて欲しい』

〈わかりやすいインフォームドコンセントシリーズ 1〉

(市原隆夫著 金原出版 2009)

■ 本書は、“胆石症であることを告知され、治療の開始を勧められた患者様、ナース、研修医が主治医との面談に赴くときのための副読書として書きました。”と著者は序文で書いています。

■ また、病気に対する不安解消や手術前の疑問の解決に役立つように、日常的な言葉を用いたとも書いています。

■ 内容は、患者さんにご家族と医師との対話形式で、検査、合併症、手術、輸血、術後スケジュール、手術費用などが解説されています。 A5 版 92p. ¥2,520 です。(Os.)



なのはな文庫の活動

ようやく春の日差しも暖くなり、これからの季節はとも過ごしやすいようになっていくのが楽しみです。

「なのはな文庫」の活動も、気がつけば8ヶ月がたち、黄色いエプロン姿が、外来案内に引き続き病棟のデイルームでも、患者さんとご家族の方々、看護師さんに知っていただけるようになりました。毎週火曜日に、笑顔と優しい気持ちとともに、一人でも多くの患者さんが本を読まれることで、日々の時間に安らぎと癒しを感じていただけたらと思って活動しています。

活動の場所はデイルームだけでなく、1号館の小児科外来とメンタルヘルスセンターの本棚にも広がっています。本も、なるべく読み飽きないように、3か月に一度、近くの大田区立図書館へ出向いて、リサイクル本を選んで持ち帰っては入れ替えをしています。



本の入れ替えの合間に、デイルームのお花や鉢植えの水やりも、欠かさずしています。

最近では、患者さんや看護師さんから「本を読んでいらっしゃる患者さんが増えました」「こんな本が読みたい」など、また「自宅にある本を持ってきませんか」とお声をかけていただくこともあり、とても感謝しています。

本の種類も数多くありますが、漫画、単行本、お料理の本、絵本なども入れて、子どもさんもお母さんと一緒に楽しんでいただけるようにしていきます。

もちろん、デイルームの本は病室に持ち帰ってゆっくり読んでいただいて結構ですし、お持ち帰りの冊数も制限はありません。

これからも、私たちボランティアの手作りと真心の気持ちを忘れずに、いつでも明るく使いやすいデイルームであってほしいと望んでいますので、なにかご希望がありましたら、活動中の私たちにお声をかけていただき、ご意見、ご要望をお聞かせいただきたいと思います。ボランティアにできることを少しずつお応えしていきたいと思っています。

今は、「ありがとう」「ご苦労さまです」のお声をいただくことが、とてもボランティアの励みになっています。

(T.T. なのはな文庫/外来案内ボランティア)

